2004 年 IEEE Kansai Section

総会資料

2004 年 2 月 25 日

IEEE Kansai Section

2004年IEEE Kansai Section総会

１．日時：　2004年2月25日（水）15時00分～17時00分
２．場所：　中央電気倶楽部　215号室
　　　　　　530-0004　大阪市北区堂島浜2-1-25
３．総会スケジュール
　　１．支部長挨拶
　　２．役員紹介
　　３．2003年活動報告および会計報告
　　４．2004年事業計画および予算案承認
　　５．Chapter役員および活動紹介
　　６．IEEE Kansai Section Gold Award授賞式
　　　　<休憩>
　　７．IEEE Kansai Section 新Fellow紹介及びスピーチ
　　８．閉会の挨拶

IEEE Kansai Section GOLD Award受賞者

（敬称略）

大杉　直樹　（奈良先端科学技術大学院大学）

IEEE Kansai Section新Fellow氏名

（アルファベット順、敬称略）

藤岡　弘	（大阪大学）
池田　雅夫	（大阪大学）
牧野　昭二	（日本電信電話）
村上　孝三	（大阪大学）
中村　行宏	（京都大学）
野澤　博	（京都大学）
大平　孝	（国際電気通信基礎技術研究所）
管村　昇	（日本電信電話）
高森　年	（神戸大学）
冨沢　治	（三菱電機　現：高知工科大学）
山本　誠一	（国際電気通信基礎技術研究所）
吉野　勝美	（大阪大学）

Ⅰ　2003 年活動報告

1．総会

2003 年 2 月 17 日（月）に中央電気倶楽部　317 号室において、2003 年総会を実施した。参加者：33 名

2．役員会

第 1 回役員会　1 月 16 日　住友ビル　　出席者：11 名
・Japan Council 理事会報告　・Financial Report　・2003 年総会について
第 2 回役員会　2 月 17 日　中央電気倶楽部　　出席者：12 名
・2003 年総会について　・Gold Award の受賞について
第 3 回役員会　4 月 24 日　中央電気倶楽部　　出席者：12 名
・Japan Council 理事会報告　・MDC 委員会報告
・News Letter の発行について　・R10 Bylaws の改正について
第 4 回役員会　9 月 4 日　中央電気倶楽部　　出席者：11 名
・Japan Council 理事会報告　・奈良先端大 Student Branch の設立報告
・Gold Award について　・会計中間報告　・会議協賛について
・技術講演会の実施について　・情報関連学会連絡会への参加について
第 5 回役員会　12 月 3 日　中央電気倶楽部　　出席者：11 名
・2003 年活動報告　・Gold 賞の審査　・会議協賛について
・Fellow 推薦について　・Region 10 Meeting 参加報告

3．主催講演会

Technical　Program Committee の企画により以下の支部主催講演会を実施した。

・関西支部主催第 19 回技術講演会
日時：2003 年 3 月 6 日（木）14:00〜15:30
場所：京都大学　工学部　（参加者 28 名）
題目：Computational Linguistics and Digital Libraries
講演者：Prof. Judith Clavans
(コロンビア大学, Center for Research on Information Access 所長)

・関西支部主催第 20 回技術講演会
日時：2003 年 4 月 18 日（金）11:00〜12:00
場所：国際電気通信基礎技術研究所　（参加者 61 名）
題目：Adaptive Echo Cancellation for Voice Signals

講演者：Dr. Man Mohan Sondhi
(Avayalabs Research コンサルタント、
現在 ATR 音声言語コミュニケーション研究所 招聘研究員)

・関西支部主催第 21 回技術講演会
日時：2003 年 5 月 26 日（月）10:30～12:00
場所：大阪大学　　　（参加者 104 名）
題目：Taking it to the Streets: How Virtual Reality Can Change Mobile Computing
講演者：Prof. Steaven K. Feiner（米国 Columbia University 教授）

・関西支部主催第 22 回技術講演会
日時：2003 年 10 月 1 日（水）15:00～16:30
場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所　　　（参加者 29 名）
題目：Query Languages for Semantic Web Applications: Requirement Specifications
講演者：Prof. Francois Bry　(ドイツ　ミュンヘン大学)

・関西支部主催第 23 回技術講演会
日時：2003 年 10 月 14 日（火）13:30～15:00
場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所　　　（参加者 237 名）
題目：素人発想、玄人実行：　研究を楽しむ、わからせる
講演者：金出武雄　（カーネギーメロン大学）

４．Region 10 Meeting

2003 年 10 月 10 日(金)～11 日(土)の日程でマレーシア･ペナン Shangri-La Rasa Sayang Resort Hotel にて開催された Region 10 Meeting には、関西支部より前田 Seretary/Treasuerer が出席した。支部運営に関する Tutorial、Training Session などが中心であった。山本理事は、Region 10 Regional Chapter Coordinator として参加した。

５．各 Committee 活動

a.　Membership Development Committee

（1）2002年の数値目標を達成すべく、各企業、大学などの組織別の会員人数の変動を調査し、これを基に数値目標をもうけた。また、Active Member ではないAffiliate会員にMemberへの移行を促した。その結果、12月末までの会員数は順調に増加した。

（2）AssociateからMemberへ、またMemberからSinior Memberへのアップグレ

ードを促した。その際、Nominating Sectionの欄にKansai Sectionと記入するよう求めた。さらにPending MemberおよびPending Sinior Memberに早急にpending処理を済ませるよう手続きを促した。

（3）Student Activity Committeeとの連携を強めて学生会員の増強をはかった。2003 年 4 月 17 日、12 月 5 日の両日に渡って合同委員会を開催して取り組みを協議した。

b. Nominations Committee

（1）昨年と同様に、支部役員の方々と連携をとり、Senior Member の拡大をはじめとする、正会員や学生会員の拡大活動を行った。

（2）Fellow Nomination に関して、昨年同様の手続きを実施した。すなわち、関西支部内 の現 Fellow に対し、 新 Fellow の推薦を依頼し、IEEE 関西支部からの推薦者 19 名を決定した。しかしながら、そのうち 6 名が辞退されたため、関西支部からの Fellow 推薦者は 13 名となった。

（3）関西支部会員の中から支部推薦 10 名を含む 12 名が本年（2004 年）1 月 1 日付けで新 Fellow となった。藤岡 弘、池田 雅夫、牧野 昭二、村上 孝三、中村 行宏、野澤 博、大平 孝、管村昇、高森 年、冨沢 治、山本 誠一、吉野 勝美、の各氏である。

c. Student Activities Committee

本年目標とした奈良先端科学技術大学院大学への Student Branch の設立が達成された。2 月の総会において、昨年に新設された立命館大学 Student Branch 設立への貢献により、立命館大学の Gaute Lambertsen 君が Gold Award を受賞した。昨年に新設された立命館大学の Student Branch、本年新設された奈良先端科学技術大学院大学の Student Branch では、引き続き、会員増強の活動、対外的活動を開始した。

10 月には IEEE Japan Council 主催の IEEE 学生ブランチリーダーシップトレーニングワークショップが開催され、関西支部の４大学 Student Branch からも役員の学生諸君が参加した。また 10 月において、関西支部の４大学 Student Branch の学生が中心になって第１回 IEEE-KSC 交流会を奈良先端科学技術大学院大学で開催し、各 Student Branch の名簿管理の方法、役員や活動を幅広い研究室で選出・運営していく方法、 Student Branch 間の交流をより深めていく方法、 Student Branch の間での研究情報などの交換を促進する方法などについて、幅広く議論を行い交流を深めた。次回の交流会は大阪大学で行う予定。

d. Technical Program Committee

2002 年と同様、技術講演会の開催を主たる活動とした。開催は年４回の計画に対し、5 回（3 月 6 日、4 月 18 日、5 月 26 日、10 月 1 日、10 月 14 日）の技術講演会を実施した。開催場所としては、京都大学，大阪大学，ATR，NTT コミュニケーション科学基礎研究所で行った。講演会は、約 30 人～230 人の聴講者（5 回計 459 人）があり活発な議論が行われ盛会であった。従来から大学・研究機関との協調で実施してきているが，今年はさらに他学会との共催も実施して参加者の拡大につとめた。

e. Awards Committee

2002 年に引き続き「IEEE Kansai Section GOLD Award」の募集・選定の作業を継続して若手会員の増強を図った。ニューズレターおよび関西支部インターネットを通じての公募を行い、当委員会による選定を行い、受賞者を支部役員会で決定した。なお、今年度は GOLD Award の表彰楯については、Japan Council の Section 支援費よりご支援頂き作成を行った。

６． Kansai Chapter 活動報告

a. EDS （Electron Devices Society） Kansai Chapter

技術講演会としてはすでに定例となった関西コロキアム電子デバイスワークショップを 2 月 25 日、キャンパスプラザ京都にて開催した。当日は関西在住の研究者による国際レベルの研究成果を日本語にて発表し、活発な討論が行われた。

また、7 月 16-18 日には IEEE EDS の関西発初めての電子デバイス国際会議となる”2003 International Meeting for Future of Electron Devices, Kansai (2003 IMFEDK)” を大阪大学コンベンションセンターにて開催した。基調講演に江崎玲於奈先生（芝浦工大)、中村修二先生（カリフォルニア大)、Stefan Lai 博士（インテル）を招き、招待講演 14 件、一般講演 36 件、口頭発表に加えてポスターセッションも開催、更に会議に先立って Tutorial 講演会を行うなど盛大な催しとなった。学生や若手研究者を中心に 220 名を超える参加者を集め、盛況のうちに終了した。

これらの会議に加え、本年から新たな取り組みとして EDS Video Library を活用した Educational Meeting(ビデオ上映会)を開始した。第 1 回は 12 月 17 日、大阪大学付属図書館吹田分館視聴覚ホールにて 実施、2002 IEDM の Shout Course から、”RF Device Technologies for Communication Systems” を上映し、学生をはじめとする若手研究者の好評を博した。

この他、EDS News Letter に活動成果を投稿し、1 月、4 月、7 月、10

月各号に記事掲載された。

b. SSCS （Solid State Circuits Society） Kansai Chapter

2003 年 6 月 19 日に、京都において技術講演会を開催した。この講演会では、慶應義塾大学の黒田教授、京都大学の小野寺教授を招き、130 名の参加者（内 55 学生名）を集め、盛況の内に終了した。また、この講演会の中で、小野寺教授に SSCS Past Chapter Chair Certificate を贈呈した。なお、講演会の詳細は下記の URL に掲載している。

http://www.cs26.scitec.kobe-u.ac.jp/~sscs/

システム LSI ワークショップには、SSCS Japan Chapter とともに協賛し、大学からのポスター発表の優秀者に対して IEEE SSCS Japan Chapter 奨励賞を授与した。この他、STARC シンポジウム、日本ー台湾 LSI 設計シンポジウムなど、この分野の技術者及び学生が多数集るイベントに協賛し、活動のアピールと会員獲得に務めた。

c. CAS （Circuits and Systems Society） Kansai Chapter

2003 年 7 月 28 日に、大阪において技術講演会「SOC と組込み技術の現状と将来 （第１回） 」を開催した。この講演会では、先端アナログ集積回路（大阪大学谷口研二教授）、メディア処理システムの SoC 設計（大阪大学　尾上孝雄教授）、組み込みリアルタイムシステム（三菱電機　南角茂樹氏）について３件の講演を行い、62 名の参加を集めて盛況の内に終了した。後日、講演会参加者に対して電子メールにてアンケート調査を行い、今後の講演会テーマに対する要望等を集約した。この結果に基づき、2003 年 12 月 16 日には、大阪において技術講演会「SOC と組込み技術の現状と将来（第２回）」を開催した。この講演会では、アナ・デジ混載 SoC 技術（東京工業大学　松澤昭教授）について長時間の講演を行い、44 名の参加を集めて盛況の内に終了した。２回の講演会ともに、参加者の大半が企業からの参加者であり、このテーマに対する社会的関心・要求の高さを示した。

７．協賛会議

・ISPLC2003（7th International Symposium on Power-Line Communications and Its Applications）

日時：2003 年 3 月 26 日（水）～28 日（金）

場所：京都全日空ホテル

・ICA2003（Fourth International Symposium on Independent Component Analysis and Blind Signal Separation，第４回独立成分分析会議）

日時：2003 年 4 月 1 日（火）～4 日(金)

場所：奈良県新公会堂

・IWAENC2003　（第 8 回音響エコーとノイズ制御ワークショップ）

日時：2003 年 9 月 9 日（火）～11 日（木）

場所：京都けいはんなプラザ

・ACM Symposium on Virtual Reality Software and Technology 2003 (VRST2003)

日時：2003 年 10 月 1 日（水）～3 日（金）

場所：大阪大学

・計算制御学会関西支部シンポジウム

「計測と制御の統合とナノ世界をめざして」

日時：2003 年 10 月 24 日（金）

場所：神戸大学医学部新緑会館

・TEN2005「次世代エンジニアのための企業技術ガイダンス」

日時：2003 年 10 月 27 日（月）～28 日（火）

場所：京都リサーチパーク

８．情報の発信

（１）支部 Web ページ

支部の Web ページによる積極的な情報発信を継続した。

（２）電子メール・FAX・葉書の利用

Japan Council/東京支部事務局へ依頼することにより、技術講演会等の案内もタイムリーに、電子メール・FAX・支部 Web を用いて広く公告するなど情報発信に努めた。また、FAX 送信時に電子メール登録（http://homepage1.nifty.com/ieeetokyo/email4.htm）を働きかける情報を添付した。

（３）Newsletter

Kansai Section Gold 賞の募集をはじめ支部に関する情報を Newsletter 形式で継続して提供した。

Ⅱ　2003 年 IEEE 関西支部会計報告

収入の部	予算案	（単位：円）		
◆IEEE Entity 間勘定	5,193,934	4,990,813		
・Section Rebate（IEEE 本部より）	1,005,106	1,021,746	$8,389.97（注 1, 2, 3, 4, 5）	7/2 入金
・Section Assessment（同上）	4,160,000	3,763,119	$32,040.18	3/25 入金
		163,700	$1,430.32	9/19 入金
・MDC Subsidy/Grants for Student Branch	8,050	24,400	$206.00（Region10 より）	7/2 入金
・The Nominate Senior Member Initiative	6,900	3,554	$30.00	7/2 入金
・Wall Plaque 立替分	13,878	14,294	$120.68（EDS Chapter より）	
◆利息		19		1/20, 8/18
◆繰越金	1,240,071	1,240,071		
合計	6,434,005	6,230,903		

（注１）Rebate 内訳｛$1,800＋$4×（Fellow, Senior 会員数＝165）　+ $3×（Member, Associate, Student 会員数＝1,623）+$1.5×（Affiliate 会員数＝175）　+$180×（Chapter 数＝2)｝×　1.10

（注２）$1,800 は各 Section 一律配分

（注３）Chapter 数は設立時期の関係より EDS, SSCS のみがカウントされる

（注４）$120.68 Wall Plaque 代は本部にて相殺

支出の部	予算案	（単位：円）		
◆IEEE Entity 間勘定	4,239,098	4,004,210		
・Japan Council 拠出金	4,160,000	3,762,594		3/25
		160,990		9/22
・Chapter Rebate	41,400	42,642	$180.00×2（EDS,SSCS へ）	9/5
・Wall Plaque 立替分	13,878	14,294	IEEE 本部へ	
・Student Branch 支援金	23,820	23,690	$100.00×2（注 5）（立命館大学・京都大学 Student Branch へ）	9/25 10/27
◆会合・AWARD 費	880,000	844,906		
・総会費	100,000	147,945	会場費、資料代など	2/17
・講演会	200,000	120,000	謝金など	3/6, 5/26, 10/1
・役員会費	250,000	251,361		1/16, 2/17, 4/24,9/4, 12/3
・Committee 会合費	300,000	300,000		4/17,12/5
・Award 費	30,000	25,600	受賞者交通費を含む	2/17
◆事務経費	136,000	70,960		
・通信費	10,000	1,060		
・事務用品費	6,000	0		
・旅費	120,000	69,900		4/24, 9/4
◆雑費	10,000	18,130	為替手数料,振込手数料など	
◆2004 年への繰越	1,168,907	1,292,697		
合計	6,434,005	6,230,903		

（注５）換金レート（118.45 円／＄）

III　関西支部会員数

１．グレード別会員数

2003.12.31 現在

グレード	Grade Code	会員数（注 1）
Honorary Member	HM	0
Life Fellow	LF	23
Fellow	F	40
Life Senior Member	LS	5
Senior Member	SM	100
Pending Senior Member	PS	0
Life Member	LM	26
Member	M	1,363
Pending Member	PM	0
Life Associate	LA	0
Associate	A	98
Student	S	203
Total		1,858
Affiliate of an IEEE Society	AF	173

上記集計では、Active 会員のみをカウントし、かつ、他のセクションへの移籍者等は含まない。

2003 年 12 月において AR（1 年未満滞納者）は 129 名である。

２．ソサイエティ別会員数

2003.12.31 現在

ソサイエティ	Code	会員数
Signal Processing	SP-01	148
Broadcast Technology	BT-02	9
Antennas and Propagation	AP-03	60
Circuits and Systems	CAS-04	146
Nuclear and Plasma Science	NPS-05	17
Vehicular Technology	VT-06	36
Reliability	R-07	11
Consumer Electronics	CE-08	25
Instrumentation and Measurement	IM-09	19
Aerospace and Electronic Systems	AES-10	16
Information Technology	IT-12	58
Industrial Electronics	IE-13	40
Engineering Management	EM-14	21
Electron Devices	ED-15	211

Computer	C-16	613
Microwave Theory and Techniques	MTT-17	153
Engineering in Medicine and Biology	EMB-18	56
Communications	COM-19	245
Ultrasonics, Ferroelectronics and Frequency Control	UFFC-20	30
Components, Packaging and Manufacturing Technology	CPMT-21	28
Oceanic Engineering	OE-22	10
Control Systems	CS-23	106
Robotics and Automation	RA-24	93
Education	E-25	16
Professional Communication	PC-26	3
Electromagnetic Compatibility	EMC-27	24
System, Man and Cybernetics	SMC-28	95
Geoscience and Remote Sensing	GRS-29	12
Social Implications of Technology	SIT-30	7
Power Engineering	PE-31	71
Dielectrics and Electrical Insulation	DEI-32	14
Magnetics	MAG-33	41
Industry Applications	IA-34	41
Power Electronics	PEL-35	41
Lasers and Electro-Optics	LEO-36	122
Solid-State Circuits	SSC-37	161
Total		2,799

Ⅳ　2004 年 IEEE Kansai Section 役員

Section Officers

Chair:	白川　功	（大阪大学）
Vice Chair:	管村　昇	（日本電信電話）
Secretary/Treasurer:	前田　英作	（日本電信電話）

理事

MDC Chair:	橋本　正弘	（大阪電気通信大学）
NC Chair:	上林　弥彦	（京都大学）
SAC Chair:	藤原　秀雄	（奈良先端科学技術大学院大学）
TPC Chair:	間瀬　健二	（ATR メディア情報科学研究所／名古屋大学）
AC Chair:	山本　幹	（大阪大学）

理事（Past Officers, Past Committee Chairs）

Past Chair:	長尾　真	（京都大学）
Past Vice Chair:	石井　健一郎	（名古屋大学）
Past Secretary/Treasurer:	大山　芳史	（ＮＴＴアドバンステクノロジ）
Past MDC Chair:	小山　正樹	（奈良先端科学技術大学院大学）
Past SAC Chair:	中村　行宏	（京都大学）
Past TPC Chair:	中津　良平	（関西学院大学）
Past AC Chair:	羽根田博正	（神戸大学）

Committee Officers

a. Membership Development Committee：

Chair:	橋本　正弘	（大阪電気通信大学）
Secretary:	土居　元紀	（大阪電気通信大学）
Member:	太田　有三	（神戸大学）
	片桐　恭弘	（ATR メディア情報科学研究所）
	勝川　保	（住友電気工業）
	勝山　豊	（大阪府立大学）
	宮本　雅之	（シャープ）
	阪部　茂一	（三菱電機）
	庄中　永	（オムロン）
	瀬恒　謙太郎	（松下電器産業）
	辰巳　昭治	（大阪市立大学）
	福田　秀樹	（関西電力）

藤田　智弘　（立命館大学）
松平　盛夫　（三洋電機）
三好　正人　（日本電信電話）
山本　　裕　（京都大学）

b. Nominations Committee：

Chair: 上林　弥彦　（京都大学）

Member: 大西　良一　（三菱電機）
奥村　浩士　（京都大学）
河田　　亨　（シャープ）
櫛木　好明　（松下電器産業）
菅原　良孝　（関西電力）
羽根田博正　（神戸大学）
吉田　健一　（住友電気工業）

c. Student Activities Committee：

Chair: 藤原　秀雄　（奈良先端科学技術大学院大学）

Member: 小野寺 秀俊　（京都大学）
小島　史男　（神戸大学）
松本　健一　（奈良先端科学技術大学院大学）
村田　正幸　（大阪大学）
柳田　益造　（同志社大学）
山内　寛紀　（立命館大学）

d. Technical Program Committee：

Chair: 間瀬　健二　（ATR メディア情報科学研究所／名古屋大学）

Vice Chair: 北村　喜文　（大阪大学）

Secretary: 山本　誠一　（ATR 音声言語コミュニケーション研究所）

e. Awards Committee：

Chair: 山本　　幹　（大阪大学）

Member: 朝香　卓也　（京都大学）
井上　克巳　（神戸大学）
黒江　康明　（京都工芸繊維大学）
近藤　晴房　（三菱電機）
千葉　　徹　（シャープ）
戸出　英樹　（大阪大学）
山内　寛紀　（立命館大学）

Ⅴ　2004 年 Kansai Chapter 役員

EDS （Electron Devices Society） Kansai Chapter：

Chair:	上田　大助（松下電器産業）
Vice Chair :	谷口　研二（大阪大学）
Secretary:	酒井　啓之（松下電器産業）
Treasurer:	松岡　俊匡（大阪大学）

SSCS （Solid State Circuits Society） Kansai Chapter:：

Chair:	中屋　雅夫	（ルネサステクノロジ）
Vice Chair :	山内　寛紀	（立命館大学）
Secretary:	永田　 真	（神戸大学）
Treasurer:	石川　淳士	（ルネサステクノロジ）

CAS （Circuits and Systems Society） Kansai Chapter:：

Chair:	熊谷　貞俊	（大阪大学）
Vice Chair:	神戸　尚志	（近畿大学）
Secretary:	土居　伸二	（大阪大学）
Treasurer:	山田　晃久	（シャープ）

Ⅵ　2004 年 IEEE Kansai Section 事業計画

１．総会

2004 年 2 月 25 日（水）15:00～17:00 の予定で、2004 年定例総会を実施する。

２．支部主催講演会

Technical Program Committee の企画により、講演会を実施する。

３．役員会

第１回役員会　 1 月 15 日　中央電気倶楽部

・2004 年事業計画　・2004 年各 Committee の事業計画

第２回役員会　 2 月 25 日　中央電気倶楽部

・2004 年総会について

2004 年中に、さらに数回の役員会を開催する予定である。

４．関西支部 Gold Award

2003 年に引き続き、Award 受賞候補者を公募し、該当者を表彰する。

５．各 Committee 活動

a. Membership Development Committee

（１）目標会員数を達成するため、2003年度および2004年度の両年にわたり、組織別の数値目標を設定した。2003年の成果を踏まえて大学、企業などの各組織別の勧誘活動を一層強化する。

（２）Senior Memberへのupgradeは昨年と同様候補者に申請を促す。

b. Nominations Committee

（１）2003 年と同様に、Membership Development Committee と共同して Senior Member だけではなく、正員、学生員の拡大をも図る。

（２） Fellow 候補者をできるだけ多く Nominate する。Fellow Nomination に関して、2003 年と同一手順で実行の予定。そのために、まず、正確な Senior Member のデータを作成する。

c. Student Activities Committee

（１） Student Branch の設立

昨年に引き続き、学生会員の勧誘を進め、Student Branch の設立に向け努力を 継続する。既設の４大学（大阪大学、京都大学、立命館大学、奈良先端科学技術大学院大学）に加え、新しく Student Branch の設立を目指す。

（２） 学生を対象としたイベント企画学生を対象とした講演会、見学会、IEEE 活動説明会を兼ねたイベントを企画し、学生会員の一層の増加を図る。関西支部の４大学 Student Branch を中心に、交流会を引き続き開催し、Student Branch 間の交流を深める。

（３）関西支部配下の Student Branch の 2004 年の体制は以下の通りである。

１．大阪大学

Counselor:	尾上 孝雄	
Mentor:	岡田 圭介	（ルネサステクノロジ）
Chair:	岩永 信之	（修士２年生）
Vice-Chair:	木村 基	（博士１年生）
Treasurer:	中川 陽介	（修士１年生）
Secretary:	松村 友哉	（修士１年生）

２．京都大学

Counselor:	中村 行宏	
Mentor:	澤田 宏	（日本電信電話）
Chair:	辻野 孝輔	（修士２回生）
Vice-Chair:	杉田 弘晃	（修士１回生）
Treasurer:	神山 真一	（修士１回生）
Secretary:	下津 佑介	（学士４回生）

３．立命館大学

Counselor:	福井正博	（立命館大学）
Mentor:	村田 博幸	（松下電器産業）
Chair:	宮崎 雅	（修士１回生）
Vice-Chair:	神谷 智史	（学部４年生）
Treasurer:	杉浦 弘亮	（学部４年生）
Secretary:	西岡 龍徳	（学部４年生）

４．奈良先端科学技術大学院大学

Counselor:	松本 健一	
Mentor:	阪井 誠	（ＳＲＡ先端技術研究所）
Chair:	大杉 直樹	（博士１回生）
Vice-Chair:	神崎 雄一郎	（博士１回生）
Treasurer:	角田 雅照	（修士２回生）
Secretary:	中道 上	（修士２回生）

d. Technical Program Committee

2003 年と同様、講演会の開催を主たる活動とする。2004 年は５～６回程度の回数の開催を計画する。大阪・京都地区での講演会の開催、会員からの講演会の提案受付，シリーズ物の講演会の開催などは今後も引き続き取り組んでいく。さらに、他の Section との共催、IEEE Distinguished Lecturer による講演会の開催等に取り組む。なお、添付資料（p.21)、「技術講演会企画実施要領」を示す。

e. Awards Committee

2003 年に引き続き「IEEE Kansai Section GOLD Award」の募集・選定作業を継続して若手会員の増強を図る。また、中長期的視点で学生会員や若手会員のさらなる増強をねらい、予算措置を視野に入れながら新企画の検討を行う。

６．Kansai Chapter 活動計画

a. EDS （Electron Devices Society） Kansai Chapter

本年も国際会議、技術講演会を中心に積極的に活動を展開する。更なる活動の活発化と継続化を目的に、本年度より EDS Kasai Chapter の Committee Member を増員、より広い地域・組織へ活動を広げていく。国際会議 ”International Meeting for Future of Electron Devices, Kansai（IMFDEK）”は本年も主催（7 月 26-28 日)、定例の関西コロキアム電子デバイスワークショップも 3 月 9 日に開催の予定である。 好評であったビデオ上映会は本年も継続

すると共に、今年は Distinguished Lecturer を招いての技術講演会（DL Meeting）も行う予定にしている。 この他、関西地区で開催される各種会議・研究会にも積極的に協賛し、引き続き会員獲得にもつとめていく計画である。

b. SSCS （Solid State Circuits Society） Kansai Chapter

2004 年も技術講演会を中心に活動し、学生や若手研究者を主な対象とした質の高い講演と技術情報の提供を行い、会員獲得につなげることを目標とする。2 月、6 月と 10 月頃に技術講演会を開催し、国内外より著名な VLSI 設計関連の技術者を招く予定である。また、関西地区で開催される各種研究会、ワークショップにも積極的に協賛し、会員獲得につとめる計画である。

c. CAS （Circuits and Systems Society） Kansai Chapter

2004 年も 2003 年同様に、技術講演会を中心に活動し、学生や若手研究者を主な対象とした質の高い講演と技術情報の提供を行い、会員獲得につなげることを目標とする。また、関西地区で開催される各種研究会、ワークショップにも積極的に協賛し、会員獲得につとめる計画である。既に、1 月には、広島での電子情報通信学会コンカレント工学研究会・ハイブリッドダイナミカルシステム理論とその応用研究会と共催で招待講演を企画しており、また、3 月には、情報処理学会関西支部システム LSI 研究会と共催を企画している。

７．協賛会議

他学会・組織と連携し、協賛会議の実施を検討する。現在以下の協賛会議の実施が決定している。

（１）コンピュータを利用した創造・連携・協調に関する国際会議

日時：2004 年 1 月 29 日（木）- 30 日（金）

場所：京都けいはんなプラザ

http://www.dl.kuis.kyoto-u.ac.jp/c5-04/

（２）シンポジウム「ハイブリッドシステムの解析と制御-近未来の制御系設計を目指した新しい芽の結集-」

日時：2004 年 3 月 18 日（木）- 19 日（金）

場所：大阪大学（吹田キャンパス銀杏会館）

http://www-newton.mech.eng.osaka-u.ac.jp/hybrid/info/info.html

Ⅶ　2004年IEEE 関西支部予算

収入の部　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

◆IEEE Entity 間勘定	4,985,278	
・Section Rebate（IEEE本部より） ・Section Assessment（同上） ・MDC Subsidy/Grants for Student Branch ・The Nominate Senior Member Initiative ・Student Branch 設立支援金	1,028,318 3,920,000 22,660 3,300 11,000	$9,348.35 $206.00 $30.00 $100.00
◆その他	60,000	
・Section 支援金	60,000	Gold Award 費用
◆繰越金	1,292,697	
合計	6,337,975	

110円/$として計算

Rebate 内訳 {$2,000＋$4×（Fellow, Senior 会員数＝167） + $3×（Member, Associate, Student 会員数＝1,659）+$1.5×（Affiliate 会員数＝169） +$200×（Chapter 数＝3)} × 1.10

Student Branch 支援金は奈良先端科学技術大学院大学設立分

支出の部　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

◆IEEE Entity 間勘定	4,008,000	
・Japan Council 拠出金 ・Chapter Rebate ・Student Branch 設立支援金 ・Banner 代	3,920,000 66,000 11,000 11,000	 $200.00×3 $100.00 $100.00
◆会合・AWARD 費	1,065,000	
・総会費 ・講演会 ・役員会費 ・Committee 会合費 ・Award 費	150,000 200,000 350,000 300,000 65,000	会場費、資料代など 謝金など 受賞者交通費を含む
◆事務経費	110,000	
・通信費 ・事務用品費 ・旅費	5,000 5,000 100,000	
◆雑費	15,000	為替手数料,振込手数料など
◆2005年への繰越	1,139,975	
合計	6,337,975	

110円/$として計算

Ⅷ　関西支部 Bylaws

IEEE KANSAI SECTION BYLAWS

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers （IEEE） Bylaws, Constitution, Policy and Procedures manual, and the Regional Activities Board （RAB） Bylaws and Operations Manual will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

ARTICLE I --- Name and Territory

Section 1

This organization shall be known as the Kansai Section of the IEEE.

Section 2

The territory of the Kansai Section, as approved by RAB, includes the following:

Osaka, Kyoto, Hyogo, Nara, Shiga, and Wakayama prefectures, JAPAN

（The districts with the postal codes starting with 52 through 67 inclusive.）

ARTICLE II --- Officers

Section 1

The elected officers of the Kansai Section shall be the 4 Executive officers: Chair, Vice Chair, Secretary & Treasurer. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.

Section 2

The terms of office of the elected officers shall be for 2 years.

Section 3

Terms of office will begin on January 1 but, in any case, the outgoing officers will continue until their successors are duly elected and take office. The consecutive period of service shall not exceed two years.

Section 4

Any vacancy occurring during the year shall be filled by a majority vote of the Section Executive Committee.

ARTICLE III --- Standing Committee

Section 1

The Standing Committees of the Section will be as follows:

- Membership Development Committee
- Nominations Committee
- Student Activities Committee
- Technical Program Committee
- Awards Committee

Section 2

The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and their terms will expire on the end-of-term date of the Section Chair.

Section3

Each Committee Chair will appoint his/her Committee members, with the approval of the Section Executive Committee, and their terms will expire on the end-of-term date of the Committee end-of-term date of the Committee Chairs'.

Section4

Duties of the Standing Committees will be as generally described in the IEEE Section Operations Guide.

ARTICLE IV --- Management

Section 1

The management of the Section shall be by the Section Executive Committee which shall consist of the elected officers, the Past Section Chair and the following:

Standing Committee Chairs

representatives of Chapters,

such other members appointed by the Section Executive Committee,

and such other members appointed by the Section Chairman.

The number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.

Section 2

A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.

Section 3

A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of its business.

Section 4

Meetings of the Section Executive Committee ordinarily will be held at least twice a year and will be called by the Section Chair or by a request of an three members of the Section Executive Committee.

Section 5

The fiscal year of the Section shall be the calendar year.

ARTICLE V --- Nomination and Election of Officers

Section 1

A nominating Committee consisting of three members, not then officers of the Section, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.

Section 2

The nominations of the Nominating Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of 28 days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the

petition must be signed by 2% or more voting membership.

Section 3

If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot, mailed to the membership with the vote counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.

Section 4

The timetable for this procedure is as follows:

Appointment of Nominating Committee:	by August 31
Announcement of Nominations:	by September 30
Close nominations by petition:	by October 31
Hold election:	by November 30

Section 5

A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

ARTICLE VI --- Business Meeting

Section 1

In order to transact business at a Section meeting, at least 3members must be present to constitute a quorum.

ARTICLE Vll --- Finances

Section 1

All expenditures of Section funds must be approved by Section Treasurer or Chair.

Section 2

Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can be used only for normal operations of the Section.

Section 3

The treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.

ARTICLE VIII --- Amendments

Section 1

Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by 20% or more voting members.

Section 2

Amendments to or revocation of these Bylaws shall be in accordance with the IEEE Bylaws, RAB Bylaws and RAB Operations Manual.

(添付資料)

IEEE 関西支部技術講演会 企画実施要領

IEEE 関西支部
Technical Program Committee

１．受付け、承認の手続き

（１）受付け：IEEE 関西支部役員、関西支部メンバー等から下記提案項目に基づいてTPC （Technical Program Committee） に提案する。
IEEE 関西支部主催 技術講演会として推薦する内容
・講演者氏名、所属
・講演予定日時、場所
・講演予定内容（タイトル、アブストラクト）（英文可，200-300words）
・講演者略歴（英文可，100-300words）
・IEEE 会員へのメリット（会員への講演の関連性、推薦のことば）
・推薦者氏名、所属、（IEEE 関西支部役職）
・担当者氏名・連絡先 （tel, fax, e-mail）
・共催とする場合の共催組織名

（２）承認：
（i） TPC は、講演内容の重要性、貴重性、関連性などを検討する。
（ii）IEEE 関西支部技術講演会として適当であると判断した場合、TPC 委員長が、IEEE 関西支部役員会に提案する。判断材料として、講演者の経歴、講演内容、推薦文などを用いる。

（３）企画：支部で OK がでれば、推薦者、講演者、会場提供者と TPC が連絡をとって講演会詳細を詰めて、案内文を作成する。

（４）案内：案内文を支部 General Secretary に送付して、WWW 掲載、e-mail 配布（東京支部）を依頼する。

（５）参加受付け：TPC Secretary が参加申し込みを受付ける。

（６）会場準備：会場を提供する組織が、案内・受付けスタッフを出す。

（７）当日運営：IEEE 関西支部挨拶、司会者などは（共催先と相談して）柔軟に運用、なるべく TPC から司会者または挨拶者を出す。
参加者には名簿に記入していただく。（参加者数の把握とデータベース化）

（８）費用負担：IEEE は会場費を負担しない。謝礼は IEEE 関西支部が出す（5 万円）。ただし IEEE Fellow および IEEE Distinguished Lecturer は無料奉仕として謝礼は支払わない。

（９）事後報告：TPC は IEEE 関西支部総会で、年間の開催実績を報告する。

２．Technical Program Committee Member

Chair:	間瀬 健二	（ATR メディア情報科学研究所／名古屋大学 mase@atr.co.jp）
Vice Chair:	北村 喜文	（大阪大学 kitamura@eie.eng.osaka-u.ac.jp）
Secretary:	山本 誠一	（ATR 音声言語コミュニケーション研究所 seiichi.yamamoto@atr.co.jp）

2004年 IEEE 関西支部連絡先

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台 2-4
ＮＴＴ コミュニケーション科学基礎研究所内
TEL： 0774-93-5370　FAX： 0774-93-5385
e-mail：sec.kansai@ieee.org
Web URL： http://ewh.ieee.org/r10/kansai/